

# 市政のここが聞きたい

12月定例市議会  
一般質問

12月定例市議会では、12月8日、9日の2日間にわたり、14人の議員が一般質問を行いました。その質問の中から1人2質問まで要約して掲載しました。

なお、詳しい内容をお知りになりたい方は市立図書館などで12月定例市議会会議録（3月下旬発行予定）をごらんになるかインターネットで検索してください。

松浦政利

不登校児童の対応について

**問** 児童虐待が社会問題化し、ITの普及に伴う新問題も発生する中で、いじめ、不登校、少年非行の低年齢化など、私たち大人が考え問題解決に努力しなければいけない。最近、不登校児童が増えていると聞かすが、不登校対策として別教室で授業を行なうなど、登校支援はできているのか。また、不登校相談員や「ふれあい教室」の現状と効果はどうか。

**答** 総社東中、西中、総中では、別室で学習ができる別室登校担当の教員を配置し、設置していない学校は、保健室などで学習できるように居場所づくりに努めている。総社東中、西中、総中はスクールカウンセラーを2名ずつ、昭和中は不登校相談員2名を配置し、不安や悩みを相談できる体制を整えている。「ふれあい教室」は、臨床心理士や指

導員を配置し、子どもたちの指導や支援を行なっており、県下でも最も充実した取り組みをしている。  
(桑田教育長)

元気な子どもを育てるためには何が必要か

**問** 無感動、無気力、無関心という三不拍子な子どもが叫ばれる中、夢を持つていない子どもが約半数いると青少年団体のアンケートで結果が出ている。元気な若者が育たない姿が見えてくるが、その状況はどうか。そして、国は今春に教育の環境を抜本的に改革するために教育基本法を策定するようだが、本市においても教育力の再生と大胆な発想の転換を図る考えはないか。

**答** 多くの子どもは心身ともに元気であり、目標を持ち自己実現ができるよう学習に励んでいる。家庭では、親子の会話や役割が十分に達成されるように、学校は社会体験を充実させキャリア教育を一層推進する必要がある。本市も家庭

地域、学校が中心となり、子どもたちが集い、憩い、楽しむ場の構築が必要で、地域の教育力の再生を図り有識者、教育関係団体などと協力して協議会を組織し検討していきたい。  
(桑田教育長)

このほかにも、将来を担う子どもたちについて、教員の安全について、子どもの交通事故、けが等の防止についても質問しています。

村木理英

ケーブルテレビの普及について

**問** 市長は、前議会でケーブルテレビの普及率を平成21年までに98%以上の整備を目指す旨と答弁された。マルチメディア時代の情報通信基盤として果たす役割は大きく、これから本市も、市民と行政が一体化し均一の情報が市民全域に行き渡ることが、協働のまちづくりの第一歩と考える。そこで、今後のケーブルテレビの普及にも大きな役割を果たす13チャンネルの活用について、もつと市政や教育、防災情報などを提供することはできないか。



元気に遊ぶ子どもたち

